



平成29年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月3日

上場会社名 ライオン株式会社

上場取引所 東

コード番号 4912 URL <http://www.lion.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 濱 逸夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 鎌尾 義明

TEL 03-3621-6211

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

平成29年9月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	194,567	3.4	11,792	13.1	12,861	13.4	8,272	15.5
28年12月期第2四半期	188,248	4.4	10,430	83.0	11,338	70.6	7,161	83.7

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 10,917百万円 (223.2%) 28年12月期第2四半期 3,378百万円 (56.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	28.47	28.43
28年12月期第2四半期	24.86	24.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	286,172	165,776	54.9
28年12月期	298,510	157,879	50.0

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 157,121百万円 28年12月期 149,282百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		5.00		8.00	13.00
29年12月期		7.00			
29年12月期(予想)				8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	405,000	2.4	27,000	10.2	28,000	6.5	17,000	6.6	58.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	299,115,346 株	28年12月期	299,115,346 株
期末自己株式数	29年12月期2Q	8,529,975 株	28年12月期	8,551,212 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	290,579,535 株	28年12月期2Q	288,025,979 株

(注)株主資本において自己株式として計上されている役員報酬BIP信託に残存する自社の株式については、平成29年12月期第2四半期の「期末自己株式数」に502,200株含めており、平成29年12月期第2四半期の「期中平均株式数」において83,700株控除しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述している業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、経済情勢、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、上記予想数値とは大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 7「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	8
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	8
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	8
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	8
(4) 追加情報	8
3. 四半期連結財務諸表	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	15
(セグメント情報等)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期の連結業績は、売上高1,945億6千7百万円（前年同期比3.4%増、為替変動の影響を除いた実質前年同期比3.1%増）、営業利益117億9千2百万円（前年同期比13.1%増）、経常利益128億6千1百万円（同13.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益82億7千2百万円（同15.5%増）となりました。

当社グループは、中期経営計画「V-2計画（V i s i o n 2 0 2 0 P a r t - 2）」における4つの戦略テーマ「国内事業の質的成長」、「海外事業の量的成長」、「新しいビジネス価値の開発」、「組織学習能力の向上」にもとづく施策を推進しています。

国内事業では、歯刷子、制汗剤、柔軟剤等において新製品を導入するとともに、高付加価値品を中心に積極的なマーケティング施策により育成を図りました。

海外事業では、オーラルケア、ビューティケア等のパーソナルケア分野を中心に、重点ブランドの育成を行い、事業規模の拡大を図りました。

【連結業績の概況】

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	194,567		188,248		6,318	3.4%
営業利益	11,792	6.1%	10,430	5.5%	1,362	13.1%
経常利益	12,861	6.6%	11,338	6.0%	1,523	13.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,272	4.3%	7,161	3.8%	1,110	15.5%

【セグメント別の業績】

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率
一般用消費財事業	138,799	135,714	3,084	2.3%	7,507	6,155	1,351	22.0%
産業用品事業	26,270	26,614	△344	△1.3%	987	1,249	△262	△21.0%
海外事業	58,216	55,142	3,073	5.6%	2,551	2,468	83	3.4%
その他	14,241	12,143	2,097	17.3%	597	333	264	79.2%
小計	237,527	229,615	7,911	3.4%	11,644	10,207	1,436	14.1%
調整額	△42,960	△41,367	△1,593	—	148	222	△74	△33.5%
合計	194,567	188,248	6,318	3.4%	11,792	10,430	1,362	13.1%

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

<一般用消費財事業>

当事業は、「オーラルケア分野」、「ビューティケア分野」、「ファブリックケア分野」、「リビングケア分野」、「薬品分野」、「その他の分野」に分かれており、全体の売上高は、前年同期比2.3%の増加となりました。セグメント利益は、原材料価格が上昇しましたが、高付加価値品の伸長などにより前年同期比22.0%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	138,799		135,714		3,084	2.3%
セグメント利益	7,507	5.4%	6,155	4.5%	1,351	22.0%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第2四半期では13,680百万円、前第2四半期では13,116百万円となっております。

[売上高の分野別状況]

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率
オーラルケア分野	30,837	29,240	1,597	5.5%
ビューティケア分野	12,711	11,174	1,536	13.8%
ファブリックケア分野	38,394	37,453	941	2.5%
リビングケア分野	9,587	9,913	△326	△3.3%
薬品分野	18,163	19,085	△922	△4.8%
その他の分野	29,104	28,846	258	0.9%

(オーラルケア分野)

歯磨は、「0才からはじめる予防歯科」の実践を提案し、新たな香味を追加した「クリニカKid's^{キッズ} ジェルハミガキ」が堅調に推移するとともに、「システムハグキプラス」シリーズが好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

歯刷牙は、コンパクトタイプを追加発売した「ビトイーン贅沢^{ケア}Care」が好調に推移するとともに、子どもの成長に合わせて、歯みがきの習慣化から永久歯の上手なケアまでをサポートする「クリニカKid's^{キッズ} ハブラシ」が3倍増となり、全体の売上は前年同期を上回りました。

口中剤は、「システムハグキプラス デンタルリンス」が順調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

(ビューティケア分野)

昨年発売した「hadakara^{ハダカラ} ボディソープ」では、保湿とサラサラ感を両立した新製品を追加発売し、お客様のご好評をいただきました。

ハンドソープは、「キレイキレイ薬用泡ハンドソープ」が堅調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

制汗剤は、ワキ汗をしっかり抑え、サラサラした使用感の新製品「Ban^{バン} 汗ブロックスティック プレミアムラベル」がお客様のご好評をいただきましたが、全体の売上は前年同期比微減となりました。

(ファブリックケア分野)

柔軟剤は、衣類についた汗臭や体臭をしっかりと消臭する「香りとデオドラントのソフラン プレミアム消臭プラス」がお客様のご好評をいただくとともに、「ソフラン アロマリッチ」が堅調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

洗濯用洗剤は、新開発の“プレミアム抗菌処方”で抗菌効果を向上させた超コンパクト液体洗剤「トップ ^{ハイジア}HYGIA」が好調に推移しましたが、市場規模の縮小が続く粉末洗剤が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

(リビングケア分野)

台所用洗剤は、食器洗い機専用洗剤「^{チャーミー}CHARMY クリスタ」が好調に推移しましたが、「^{チャーミーマジカ}CHARMY Magica」が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

住居用洗剤は、浴室用カビ防止剤「ルック おふろの防カビくん煙剤」が好調に推移しましたが、浴室用洗剤が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期比微減となりました。

(薬品分野)

解熱鎮痛薬は、「バファリン プレミアム」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

点眼剤は、市場規模が縮小したことに加え、「スマイル40」が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

また、下着などの衣類やストレスなどによるかゆみや湿疹に効く皮膚治療薬「メソッド ^{ダブルユーオー}W0 クリーム」やシートタイプの治療薬「メソッド シート」を新発売し、お客様のご好評をいただきました。

(その他の分野)

通信販売商品は、「ナイスリムエッセンス ラクトフェリン」が順調に推移するとともに、「グッスミン 酵母のちから」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

ペット用品は、猫用トイレの砂「ニオイをとる砂」が順調に推移するとともに、オーラルケア用品が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

＜産業用品事業＞

当事業は、タイヤの防着剤等を取り扱う「自動車分野」、2次電池向け導電性カーボン等の「電気・電子分野」、施設・厨房向け洗浄剤等の「業務用洗浄剤分野」等で構成されており、全体の売上高は、グループ内取引の減少により前年同期比1.3%の減少となりました。セグメント利益は、前年同期比21.0%の減少となりました。

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	26,270		26,614		△344	△1.3%
セグメント利益	987	3.8%	1,249	4.7%	△262	△21.0%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第2四半期では10,544百万円、前第2四半期では11,412百万円となっております。

自動車分野では、タイヤの防着剤が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

電気・電子分野では、半導体搬送材料向け導電樹脂が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

業務用洗浄剤分野では、厨房向け消毒用アルコールが好調に推移するとともに、ハンドソープが順調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

＜海外事業＞

海外は、タイ、マレーシア等の東南アジア、韓国、中国等の北東アジアにおいて事業を展開しております。全体の売上高は、前年同期比5.6%の増加（為替変動の影響を除いた実質前年同期比4.7%の増加）となりました。セグメント利益は、前年同期比3.4%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	58,216		55,142		3,073	5.6%
セグメント利益	2,551	4.4%	2,468	4.5%	83	3.4%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第2四半期では5,899百万円、前第2四半期では5,959百万円となっております。

〔地域別売上状況〕

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率
東南アジア	39,963	37,811	2,152	5.7%
北東アジア	18,252	17,331	921	5.3%

(地域別の状況)

東南アジア全体の売上高は、前年同期比5.7%の増加となりました。

タイでは、「システム」歯磨や「植物物語」ボディソープが好調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

北東アジア全体の売上高は、前年同期比5.3%の増加となりました。

韓国では、「キレイキレイ」ハンドソープや洗濯用洗剤の液体「ビート」が好調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

また、中国では、「システム」歯刷牙が順調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

＜その他＞（建設請負事業等）

（単位：百万円）

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	14,241		12,143		2,097	17.3%
セグメント利益	597	4.2%	333	2.7%	264	79.2%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第2四半期では12,835百万円、前第2四半期では10,878百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

①当四半期における資産、負債および純資産の状況

(連結財政状態)

	当第2四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末	増減
総資産（百万円）	286,172	298,510	△12,337
純資産（百万円）	165,776	157,879	7,896
自己資本比率※1（%）	54.9	50.0	4.9

※1：自己資本比率は、（純資産－新株予約権－非支配株主持分）／総資産で計算しています。

総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末と比較して123億3千7百万円減少し、2,861億7千2百万円となりました。純資産は、78億9千6百万円増加し、1,657億7千6百万円となり、自己資本比率は54.9%となりました。

②当四半期におけるキャッシュ・フローの状況

(連結キャッシュ・フロー)

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,627	4,520	△8,147
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,252	△5,317	65
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,020	△5,061	2,040
換算差額	55	△1,776	1,832
増減額	△11,845	△7,636	△4,208
現金及び現金同等物の四半期末残高	65,894	53,642	12,252

営業活動によるキャッシュ・フローは、未払金等の減少等により、36億2千7百万円の資金の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、52億5千2百万円の資金の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当の支払いによる支出等により、30億2千万円の資金の減少となりました。

以上の結果、当第2四半期の現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ118億4千5百万円減少し、658億9千4百万円となりました。また、前第2四半期末に比べて122億5千2百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月10日に公表いたしました通期の連結業績予想については変更しておりません。

(当期業績予想値算出の前提条件)

主要な為替レートは、112円/米ドル、3.2円/バーツとしています。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

（業績連動型株式報酬制度）

当社は、取締役（社外取締役を除きます。）及び執行役員（以下、取締役と併せて「取締役等」といいます。）を対象に、信託を通じて自社の株式を交付する取引を行っております。

① 取引の概要

当社は、取締役等を対象に、当社の中長期的な業績の向上と企業価値の増大への貢献意欲を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度（以下、「本制度」といいます。）を導入しております。

本制度では、役員報酬BIP（Board Incentive Plan）信託（以下「BIP信託」といいます。）と称される仕組みを採用します。BIP信託とは、米国の業績連動型株式報酬（Performance Share）制度及び譲渡制限付株式報酬（Restricted Stock）制度を参考にした役員に対するインセンティブ・プランであります。当社は、取締役等の退任後に、BIP信託により取得した当社株式及び当社株式の換価処分金相当額の金銭を業績目標の達成度等に応じて、交付及び給付します。

なお、信託内にある当社株式については、経営への中立性を確保するため、信託期間中、議決権を行使しないものとしております。

② 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除きます。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、当第2四半期連結会計期間末1,069百万円、502千株であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,879	19,285
受取手形及び売掛金	60,293	55,276
有価証券	61,007	48,167
商品及び製品	26,120	29,293
仕掛品	2,863	3,614
原材料及び貯蔵品	10,742	10,814
その他	6,626	5,896
貸倒引当金	△64	△64
流動資産合計	185,469	172,283
固定資産		
有形固定資産	74,402	74,586
無形固定資産		
商標権	1,658	274
その他	1,164	1,209
無形固定資産合計	2,822	1,484
投資その他の資産		
投資有価証券	24,025	26,435
その他	11,874	11,469
貸倒引当金	△84	△86
投資その他の資産合計	35,815	37,817
固定資産合計	113,040	113,888
資産合計	298,510	286,172
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,680	28,521
電子記録債務	16,266	14,599
短期借入金	4,244	4,639
1年内返済予定の長期借入金	260	263
未払金及び未払費用	51,979	41,295
未払法人税等	4,677	2,622
賞与引当金	3,792	1,908
返品調整引当金	382	376
販売促進引当金	2,974	3,305
役員賞与引当金	387	139
その他	3,793	4,911
流動負債合計	123,440	102,585
固定負債		
長期借入金	1,690	1,581
役員退職慰労引当金	287	262
株式給付引当金	-	38
退職給付に係る負債	10,446	11,023
資産除去債務	337	339
その他	4,428	4,565
固定負債合計	17,190	17,810
負債合計	140,630	120,396

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,433	34,433
資本剰余金	34,508	35,291
利益剰余金	82,479	88,427
自己株式	△4,778	△5,581
株主資本合計	146,642	152,571
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,429	9,043
繰延ヘッジ損益	12	△1
為替換算調整勘定	445	493
退職給付に係る調整累計額	△5,246	△4,985
その他の包括利益累計額合計	2,640	4,549
新株予約権	218	210
非支配株主持分	8,377	8,443
純資産合計	157,879	165,776
負債純資産合計	298,510	286,172

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	188,248	194,567
売上原価	77,460	80,568
売上総利益	110,787	113,999
販売費及び一般管理費	100,357	102,206
営業利益	10,430	11,792
営業外収益		
受取利息	79	74
受取配当金	257	319
持分法による投資利益	451	424
受取ロイヤリティー	117	122
為替差益	44	25
その他	229	342
営業外収益合計	1,180	1,308
営業外費用		
支払利息	176	97
社債利息	9	-
たな卸資産処分損	17	67
その他	70	74
営業外費用合計	273	238
経常利益	11,338	12,861
特別利益		
投資有価証券売却益	-	87
特別利益合計	-	87
特別損失		
固定資産処分損	436	89
減損損失	59	342
関係会社整理損	235	-
特別損失合計	731	432
税金等調整前四半期純利益	10,607	12,517
法人税、住民税及び事業税	2,989	2,458
法人税等調整額	△125	991
法人税等合計	2,863	3,449
四半期純利益	7,743	9,067
非支配株主に帰属する四半期純利益	582	795
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,161	8,272

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	7,743	9,067
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△617	1,659
繰延ヘッジ損益	△38	△14
為替換算調整勘定	△3,942	23
退職給付に係る調整額	366	260
持分法適用会社に対する持分相当額	△132	△79
その他の包括利益合計	△4,365	1,849
四半期包括利益	3,378	10,917
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,657	10,181
非支配株主に係る四半期包括利益	△279	735

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,607	12,517
減価償却費	5,108	5,202
減損損失	59	342
退職給付に係る資産及び負債の増減額 (△は減少)	835	531
受取利息及び受取配当金	△336	△393
支払利息	176	97
社債利息	9	-
固定資産処分損益 (△は益)	436	89
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△87
持分法による投資損益 (△は益)	△451	△424
売上債権の増減額 (△は増加)	5,781	5,166
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,060	△3,927
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,785	△7,902
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△2,437	△9,867
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	618	1,315
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△185	△113
その他	△782	△2,076
小計	8,591	469
利息及び配当金の受取額	454	539
利息の支払額	△138	△87
法人税等の支払額	△4,386	△4,549
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,520	△3,627
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△20	△390
有形固定資産の取得による支出	△5,130	△4,610
有形固定資産の売却による収入	21	30
無形固定資産の取得による支出	△64	△211
投資有価証券の取得による支出	△91	△155
投資有価証券の売却による収入	-	382
貸付けによる支出	△1	△0
その他	△31	△296
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,317	△5,252

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	950	3,715
短期借入金の返済による支出	△3,938	△3,337
長期借入金の返済による支出	△58	△132
自己株式の取得による支出	△54	△1,106
自己株式の処分による収入	0	1,070
配当金の支払額	△1,431	△2,321
非支配株主への配当金の支払額	△490	△878
その他	△38	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,061	△3,020
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,776	55
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,636	△11,845
現金及び現金同等物の期首残高	61,278	77,739
現金及び現金同等物の四半期末残高	53,642	65,894

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	一般消費財 事業	産業用品 事業	海外事業				
売上高							
(1)外部顧客への 売上高	122,597	15,202	49,182	1,265	188,248	—	188,248
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	13,116	11,412	5,959	10,878	41,367	△41,367	—
計	135,714	26,614	55,142	12,143	229,615	△41,367	188,248
セグメント利益	6,155	1,249	2,468	333	10,207	222	10,430

(注)1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額222百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	一般消費財 事業	産業用品 事業	海外事業				
売上高							
(1)外部顧客への 売上高	125,118	15,726	52,316	1,405	194,567	—	194,567
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	13,680	10,544	5,899	12,835	42,960	△42,960	—
計	138,799	26,270	58,216	14,241	237,527	△42,960	194,567
セグメント利益	7,507	987	2,551	597	11,644	148	11,792

(注)1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額148百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。